公開シンポジウム

源氏物語と日本文化の秘めた力

日時
2017年9月16日(土) 13:00〜18:30
(受付12:30)

会場
同志社大学寒梅館 ハーディホール
京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
【京都市営地下鉄「今出川駅」下車】

同志社大学 創造経済研究センターと京都と茶文化研究センターは、昨秋「茶文化の世界への発信—京都からの提案」シンポジウムを共催し、日本舞踊、能楽、茶道といった伝統文化が京都という空間においていかに継承され、現代、そして未来にむけて発信されていくべきかについて、議論をおこなった。

本シンポジウムでは、日本文化の本質を明かにすべく、平安文化の現代的意義を解明することからはじめ、日本文化の思想性を様々な観点から議論する。伝統的な日本文化を持つ特色を明確化するために、茶のお点前のモーション・キャプチャーを例にとり、学問官共同、文理負の学術観点からも幅広く議論する。そして、日本を代表する伝統文化が、京都という「伝統」と「革新」が共存する空間においていかに継承され、どのような形で現代社会に息づき、さらにいかなる将来性を含んでいるのかを、各界の専門家の方々とともに考えていきたい。

日本の文化力の真髄を明らかにし、またその真髄を世界に発信していくには何が必要かを議論することは、文化を中心とした地域創生を進めるための政策を検討する上において重要な意味を持ち、文化庁の京都移転によって進める新たな文化行政を考えていく上での課題を明らかにできると考えている。

主催 同志社大学 創造経済研究センター
共催 同志社大学 京都と茶文化研究センター
同志社大学 ライフリック研究センター
協力 文化庁地域文化創生本部
後援 京都府／京都市
プログラム（要略）

13:00 ～ 13:10 開会のご挨拶
関口の挨拶
松岡 敬
（同志社大学学長）

佐々木 雅幸
（同志社大学経済学部教授）

第一部

13:10 ～ 14:10 講演「文化庁の京都移転で目指すもの」
松坂 浩二
（文化庁地域文化創生本部事務局長）

第二部

14:40 ～ 16:30 講演「源氏物語」 - 三角関係の謎 -
山折 哲雄
（宗教学者）

朗読「京ことばによる源氏物語の女房語り」
山下 智子
（朗読家）

第三部

17:00 ～ 18:30 討論会「伝統文化と現代社会−文理融合の可能性」
モデレーター：佐伯 順子

横川 隆一

岩崎 健
（同志社大学文学部国文学科教授）

河村 晴久
（実務幹事）

閉会のご挨拶 横川隆一
（同志社大学副学長、同志社大学生命医科学部教授）

【公募シンポジウム】 源氏物語と日本文化の秘めた力

登壇者プロフィール（登壇順）

松坂 浩二 [文化庁地域文化創生本部事務局長]
早稲田大学を卒業後、外務省観光タイピング会社勤務を経て、1994年に文部省（現在文部科学省）入省。文化庁伝統文化課課長補佐、文部科学庁観光局、朝鮮文化庁文化大臣秘書官、大臣公文事務等を歴任。2011年4月に文化庁の京都への移転に先立って京都府立特別区の地方文化創生本部の事務局長に就任。現在、徳島五山七社中において大規模な文化財の保存・復元。名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。

山下 智子 [朗読家]
京都生まれ、伯父達矢博士の無名塾に在塾、6年間活動後移籍。この間、舞台・TVにて活動。ライブフォーチュンとして、「京ことば源氏物語」の女房語りを通して、忘れさせぬ読者の感動を求める活動を行っている。旧東京大学法学部卒業後、大学院国際関係学研究科修了。現在、文化庁地域文化創生本部事務局長補佐。

横川 隆一 [同志社大学生命医科学部教授]
博士（工学）同志社大学。1986年同志社大学工学部機械工学科卒業。1988年同志社大学大学院工学研究科機械工学科工学専門博士課程修了。同志社大学生命医科学部医工学科教授。術式・研究開発推進機構長を兼任。研究分野：ロボット工学、制御工学、バイオメカニクス。

山折 哲雄 [宗教学者、評論家]
1954年、東北大学理学部社会学科卒業。1959年、東北大学大学院文学研究科博士課程修了。専門は宗教史、思想史。国際日本文化研究センター客員教授。1993年、国立歴史民俗博物館名誉教授。総合研究大学院大学名誉教授。著書に「近代日本人の宗教意識」（1996年／岩波書店）、「徳川の思想」（2011年／大田出版）、「母なるグッディー」（2013年／潮出版）など多数。

佐伯 順子 [同志社大学文学部国文学科教授]

岩崎 健 [同志社大学文学部国文学科教授]

河村 晴久 [実務幹事]
父河村晴夫の教えを受け3歳にて初舞台。林崎田晴門師に師事。重要無形文化財「能楽」総合師範保持者。『観』『乱』『石橋』『遊女』等を数多く演じた。同志社大学文学研究科文学専門博士課程前期修了。同志社大学客員教授等を歴任。ハーバード大学やエスコラス本部など海外での講演は40回を超え、2005年度文化庁文化交流使。